

2023 年度 第 1 回司法ソーシャルワーク委員会

日 時 : 2023 年 4 月 7 日(金) 19:00~21:10 on Zoom

参加者 : 安達委員長・小川・山本・堀ノ上・神久・原・福永(望)
林・加藤木・福永(晋)・原島

1 2022 年度 所感

- ・2022 年度、新規参加者:
ついていくのが大変。どのようなことを実際のケースを担当した時に行うか今後知りたい。
- ・色々経験できた。
- ・普段触れない両機においてフィールドワークを行っているような感じで大変興味深い。面接等の技術に関わる内容についても興味が掻き立てられた。
- ・司法関連の仕事をするようになった。司法領域における他職種の実態を知ることができた。司法領域において、精神保健福祉士が存在する必要性があると考えた。
- ・2022 年度当委員会に新規参加者が増えた。若い人の参加も望まれる。
- ・研修に会員が来てくれるだけでも良かった。
- ・医療ソーシャルワーカー協会のように委員会活動の周知も今後図りたい。
- ・2022 年度中検討していた講演会開催が行えなかったが、今年度は全国大会において、委員会の活動を十分に行えたと考えられる。
- ・活動がうまく行えなかった。(例: 仕事、家庭、全国大会)

2 2022 年度 社会福祉士等との連携による再犯防止対策への参加(前橋地方検察庁)について

- ・合計 4 件(安達:1 件、山本 1 件、堀ノ上:1 件)
- ・依頼について、日程がタイトであり、すぐに参加できる委員がつかまりづらい。
- ・意見書の作成について、参加した委員によって内容に偏りがでているのか気になった。
- ・群馬県地域生活定着支援センターが中心となり活動しており、ともに活動できることが楽しい。
- ・関係者の活動が理解できる。
- ・活動自体はしやすい。内容について、仕事の延長であり、特別なことはあまりない。
- ・報酬が安くなった。2021 年度 14,000 円/回→2022 年度 10,000 円/回(他交通費あり)

3 2022 年度 つなごうネットについて

- ・ケース支援実績なし。(2022 年 2 月が最後)
- ・つなごうネット定例会に参加した。
- ・2023 年 2 月 12 日(日)第9回ぐんま・つなごうネット研修会 on Zoom 参加者:70 名
演題 「出所者支援の不安に向き合う」
講師 東京都立大学 人文社会学部 助教 掛川 直之 氏
パネルディスカッションにパネリストとして堀ノ上が参加。林会長:ファシリテーター
- ・2023 年度からつなごうネットにてケース支援を行った場合報酬が日本弁護士会から支払われる。

4 2022 年度 委員会活動

- ・相談支援事業所みらいく 目黒さんの委員会参加。

・当初予定の保護観察所における性犯罪関連の講演会は実施せず。

・全国大会関連

(1)2022年9月2日(金) プレ企画

テーマ「罪を犯した人・他職種の潜在的ニーズとMHSWへの期待～フォレンジック・ソーシャルワークにおける群馬システム～」

講師:吉野 晶(群馬弁護士会 会長)

コーディネーター:寺西 里恵(石川県精神保健福祉士会)

サブコーディネーター:吉野 晶(上掲)

シンポジスト:関 夕三郎(群馬弁護士会)

高津 努(群馬県地域生活定着支援センター)

伊藤 岳央(群馬県社会福祉士会)

加藤木啓充

総合司会:安達 美紗(群馬県精神保健福祉士会)

企画準備:安達、堀ノ上、神久

(2)2022年9月2日(金) 分科会2-A 職能団体の取組み・連携活動

「ぐんま・つなごうネットにおける他職種からの精神保健福祉士の役割の評価について」

発表:堀ノ上、質疑応答・研究代表:加藤木、助言:山本

5 2023年度 委員会体制

・委員長 : 堀ノ上

・副委員長 : 原

6 2023年度 事業計画

・8～9月に研修会開催予定「模擬裁判(於:前橋地方裁判所)」

目的:会員が司法ソーシャルワーク領域における活動について興味を持つ機会を創出する。

・委員会内において下記司法ソーシャルワークに関する知識を共有し、資料を作成する。

「特別面会、更生支援計画、証人尋問、検察庁における意見書作成について」

・2024年度 会員向け研修会を開催

内容:特別面会、更生支援計画、証人尋問(2回程度か)

・ぐんま・つなごうネットへの参画

・社会福祉士等との連携による再犯防止対策への参加(前橋地方検察庁)

7 予算等

・2020年度、2021年度活動費について未清算のため、2023年度内清算を実施。

・2022年度:活動費については計上しない。

つなごうネットにおける研修会における協力費について未執行のため、2023年度予算に計上し執行

・2023年度予算計上内容

委員会活動費:つなごうネット:7回、委員会:5回×人数

2023年度つなごうネット研修会協力費:3万円

2022年度未執行分つなごうネット研修会協力費

印刷製本費:7,000円(@チラシ3,000部、A4、コート紙、90kg、両面フルカラー)

8 その他

- 研修会調整：堀ノ上委員長、原副委員長
- 安達委員長から委員会退会のご意向のご挨拶あり。安達さんおつかれさまでした。またお待ちしております。